

No.	12-2-4	場所	中川村四徳 四徳鉱泉	次世代への継承キーワード
名称	山崩れで半壊の四徳鉱泉			地域コミュニティ
災害現象	斜面崩壊			河川 四徳川
補足事項	避難行動の直後に土石流発生			支流

- 諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要

中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。

●体験談：四徳鉱泉経営者の一家

<6月28日午前1時頃、鉱泉の建物から>ふと庭先きを見ると真黒いものが見えた。何だろう、熊でも出てきたのだろうかと思った。いくらか、その黒いものが動くように見える。驚いて懐中電灯で照して見ると熊では無く、庭の真中に大きい穴がぼっかりと口を開けていたのである。その穴が次第に大きくなりそうである。大変だ、後から山崩れが起きると、家もろ共にこの穴の中に飲みこまれてしまうだろう、そうなると助かりようもない。父と母は、すぐに外へとび出して、昨日買ったばかりの山と積みあげられている薪をその穴めがけて投げこみはじめた。

(中略) 突然母がパッととびこんできた。途端に私の坐っている所から見える玄関の両側から、壁を突き破ってタンスがとびこんできた。

(中略) 家の両側の山がぬけて出たのである。

(「四徳誌」p.326～328)

記録



山崩れの影響で半壊してしまった四徳鉱泉。

出典	「中川村の災害誌」P.6/「四徳誌」p.327、328
備考	概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

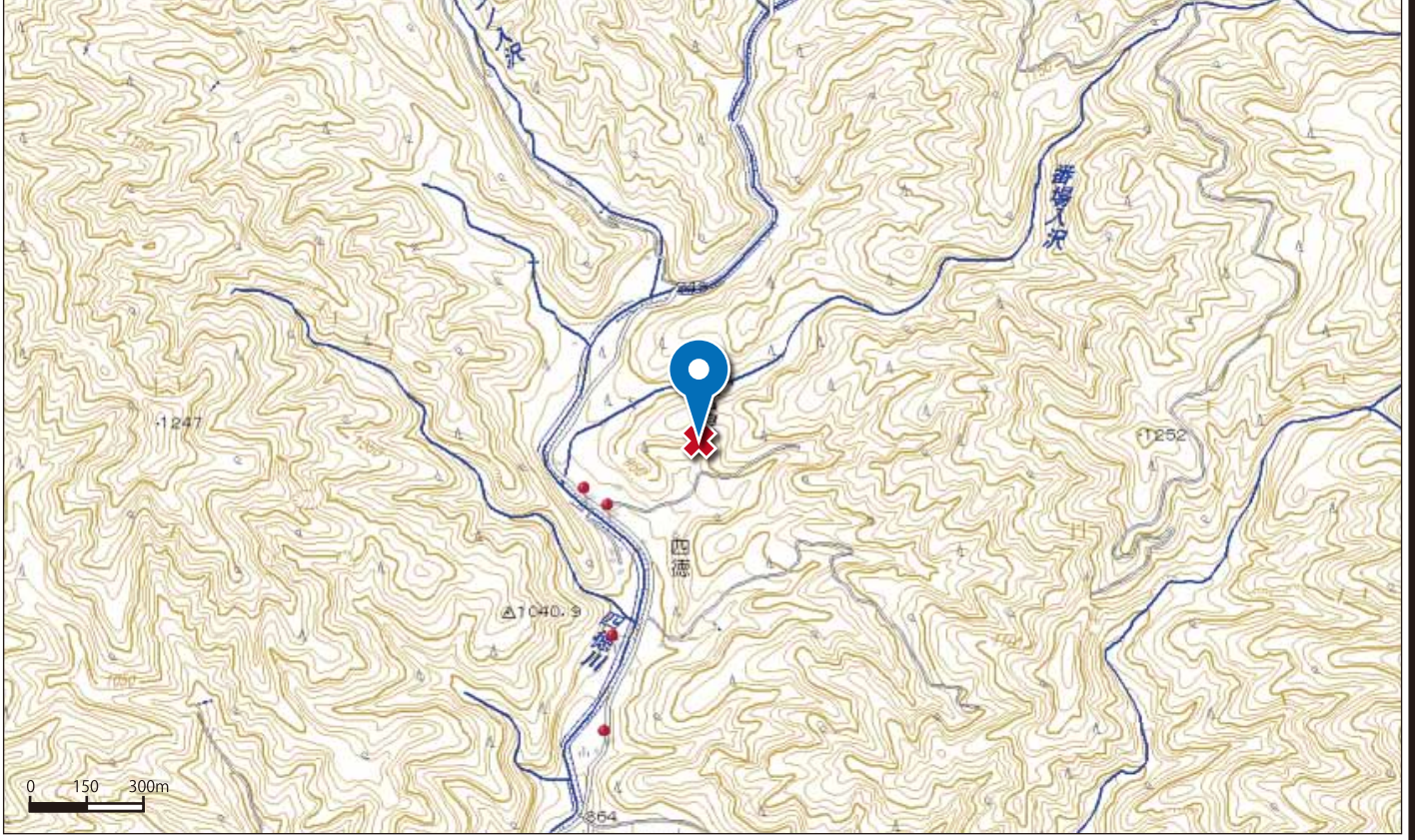
No.	12-2-4	場所	中川村四徳 四徳鉱泉	緯度	35.654045
-----	--------	----	------------	----	-----------

名称	山崩れで半壊の四徳鉱泉	経度	138.008130
----	-------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。